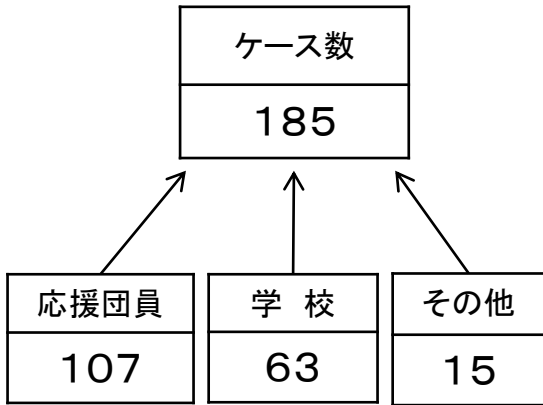




子どもの見守りをお願いします！

【事例件数】



【校区别応援団登録者数】(令和2年9月1日現在)

中学校区	登録者数
第二中	148
第三中	218
第四中	199
第五中	198
第七中	139
はずはな中	167
企業等	156
その他・市職員	100
合計	1325



応援団員の皆さまの少しの気づきが、その子どもの支援につながります。

「自信がない」「間違っていたらどうしよう」「こんなことで連絡してもいいのかな」などの心配は一切ありません。

電話もしくは専用アプリでご連絡ください。

☎06-6902-6098

アプリの利用方法

詳しい利用方法は、こちらのQRコードを読み取り、市ホームページをご覧ください。



android

iOS



インストールはこちらから

プルダウンで子どもの情報を選択して下さい。

「見かけた場所」と「補足情報」のみ打ち込む必要があります。

入力内容を確認してください

子どもの性別:

男

だいたい年齢:

小学3年生くらい

見かけた日:

5月18日

見かけた時刻:

午後2時くらい

見かけた頻度:

はじめて

その子の状態:

集団登校から外れている

見かけた場所:

浜町の交差点付近

補足情報:

下を向いて歩いているので気になります。

修正する

報告を送信する

アプリ情報送信画面

子どもの未来応援推進員の取り組み紹介

第三中校区「地域のつながり」 松本推進員

日頃から多くの情報を応援団員の方からいただいています。

しかし、全てのケースが、ケースバイケースであり八方塞がりになり頭を抱えることも少なくはありません。

そのような時、地域の応援団員の皆様はとても強い味方です。

第三中校区の担当は1人ではなく、地域の応援団員の皆様と共に支援を行っていると思えることがあります。

子どもに声をかけてくださったり、様子を見てくださったり、時には市役所の部屋まで遊びにきてくださったり。

地域のつながりの深さを感じながら、子ども達の支援に打ち込めています。

はすはな中校区「サンタさん」 宮崎推進員

コロナ禍の中、市へ多くの企業から支援物資が寄附され、支援を要する家庭を訪問するときに持参することによって会話も滑らかになり、だんだんと日常会話ができるようになるとともに、そのうち相談を持ち掛けられるようになることもあります。

このようなことを何度か重ねることにより、心が通じ合い、「市役所の人」からサンタになれるかもと思いを馳せます。

このように訪問し、人間関係を築き支援を行えるのも、地域の応援団員の皆さまから情報が寄せられるからです。いつもありがとうございます。

第四中学校区子どもの未来応援団連絡会の取組

コロナ禍の中、見守り活動もできないことから「なにが子どものことでできないだろうか。」と連絡会で意見を出し合った結果、第四中学校区で登録している応援団員やこども園、幼稚園、保育園の先生に子ども達に向けたメッセージカードを書いてもらい、第四中学校、脇田小学校、砂子小学校の協力を得て、学校に掲示しました。

登校した子ども達はメッセージカードを見て、地域の大人の暖かさを感じていました。



子どもの未来応援チーム対応ケース事例

皆様からいただいた情報を元に情報収集を重ねて、支援の方向性を決め、「子どもの未来応援推進員」が学校や家庭に訪問して子どもや保護者の支援を行っています。

継続的に支援を続けることによって、家庭環境が改善するのに伴い、子どもの状態も好転していきます。

応援団員の皆さまからの情報があつたからこそ、子どもを救うことができました。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

今回は個人情報等の関係もあることから、簡素化してケースの一例をご紹介します。

ケース例 1

情報提供者・方法	宿題カフェで活動する子どもの未来応援団員から直接
対象者	小学校低学年男子
情報提供内容	宿題カフェで「ごはん食べていない」という子どもがいる。
情報収集の結果	①ひとり親家庭で兄弟が多い家庭 ②保護者の帰りが遅く生活が安定しない。 ③本児は学校では忘れ物が多いものの欠席もなく気にならない。 ④経済的困窮に加えて地域から孤立。
チームの対応	①孤立化に歯止めをかけるため保護者と人間関係構築。 ②相談を継続しつつ、物資支援を実施し、生活を安定させる。 ③家庭も安定しつつあり、子どもも安定しつつある。

ケース例 2

情報提供者・方法	子どもの未来応援団員から電話で。
対象者	中学生女子
情報提供内容	近くに学校に行っていない子どもがいる。
情報収集の結果	①兄弟が多い家庭 ②学校でトラブルがあり不登校になった。学校での居場所がない。 ③経済状況がひっ迫している家庭ではない。 ④母親が登校を促すも拒否する。
チームの対応	①推進員が話し相手になり人間関係を築いた。 ②推進員が支援し、学校の不登校支援教室へ通学するように。 ③支援を続け、通常教室に入るようになり、進学も考えるようになった。 ④志望校を定め、自ら受験勉強に取り組むまでに安定。

インターネットテレビ！門真子どもの未来応援チャンネル

Topics 1



Topics 2



ALL ロケ66分 2020.08.11 ON AIR
門真こどもの未来応援チャンネル

スマホでQRコードをスキャンか市ホームページ「子どもの未来応援チャンネル」バナーをクリックして視聴してください。



企業との連携 情報発信ベンダー

情報発信ベンダーの設置により「子どもの未来応援ネットワーク事業」をラッピング及び音声で周知・啓発する取組です。

また、**売り上げの数%を子どもの貧困対策事業へ毎月寄附いただき**、門真市はその寄付金を基金に積み立て、必要に応じて子どもの貧困対策事業へ活用します。

設置に関してご興味のある方は下記の間合せ先までご連絡ください。

設置状況一覧(9月23日現在の抜粋)

NO.	設置場所	設置住所
6	大日倉庫(株)本社	島頭4-1-31
7	大日倉庫(株)京都配送センター	京都府八幡市下奈良小宮38-1
8	門真市役所別館1階	中町1-1
9	いそのクリニック	島頭4-8-18
10	牧野精工(株)本社工場	桑才新町8-16
11	牧野精工(株)第2工場	深田町25-2
12	東和薬品(株)本社	新橋町2-11

「情報発信ベンダー」の設置はSDGs1番目の目標「貧困をなくそう」に向けた取組です。



市役所別館1階に設置された「情報発信ベンダー」

【設置に関するお問い合わせ先】

こども部こども政策課 担当:小西 浅尾 TEL:06-6902-6095 mail: chi01@city.kadoma.osaka.jp